

# 長年の消防団活動へ献身

## 藍綬褒章を受章

長島町消防団の2人の団員が、藍綬褒章を受章され、12月1日、町長室を訪れ、川添町長に受章報告をしました。

### 竹上直登さん（山寺）

竹上直登さんは、春の褒章で、藍綬褒章を受章されました。

同氏は、昭和55年に旧東町消防団に入団。同年に開催された第13回鹿児島県消防操法大会では小型ポンプの部で優勝を果たすなど、消防操法技術の向上に大きく貢献されました。

平成7年に本部部長に任命されてからは、消防団員の技術向上と教育訓練の指導に携わり、団員の資質向上に努め、平成19年に副団長に着任してからは、諏訪義則団長をサポートしながら、過去の災害の経験を生かし、災害危険個所の積極的な調査や自衛消防組織の定期的な訓練体制の強化など、災害予防思想の普及に尽力してきました。

### 町口孝治さん（小浜）

町口孝治さんは、秋の褒章で、藍綬褒章を受章されました。

同氏は、昭和52年に旧長島町消防団に入団。平成18年の合併に伴う団再編により、団長職を退き副団長として就任し、歴史の異なる2つの消防団を一つの長島町消防団としての発展に尽力されました。

平成22年には住宅用火災警報器の義務化を前に、消防団による設置推進を強く訴え、本町の設置率を大幅に引き上げるなど、地域住民の安心安全を第一とした施策を提唱してきました。平成27年には、時代に即した団組織のさらなる防災力充実強化のため、女性消防団の必要性を訴え、発足に尽力されました。



↑町口孝治さん（写真右）



↑竹上直登さん（写真右）

# 特別養護老人ホームの開設などに尽力

## 飯尾順子さん（城川内）に社会貢献者表彰

第49回社会貢献者表彰（（公財）社会貢献支援財団主催）が、11月27日に東京の帝国ホテルで行われ、本町城川内の飯尾順子さんが社会貢献者表彰を受賞。12月1日、川添町長へ報告に来了ました。

同表彰は、社会の各分野で顕著な功績を挙げながらも、社会的に報われる機会の少ない人を対象に表彰するもので、昭和46年以来、行われているものです。

飯尾さんは、町内で医院を開業する夫の飯尾一成さんを支える中で、70歳を目前にして、本町から特別養護老人施設の建設を要望されたところ、自ら園長となるために、資格を取得。

平成12年に特別養護老人ホーム「あかね園」と在宅介護支援センターを開設し、平成19年にはデイサービスセンターも開所されました。職員と一緒に頑張って研修を重ね、より良い施設づくりに取り組み、地域から信頼され愛される施設運営に長きに渡り尽力されたことから、今回の受賞となりました。



↑祝賀会では同財団会長の安倍昭恵氏と記念撮影も



↑受賞の報告に訪れた飯尾さん（写真中央手前）